

平成 26 年度 1 回福岡市開発審査会会議録

開催日	平成 26 年 6 月 30 日 (月) 午後 4 時 00 分から 午後 5 時 50 分まで	場所	15 階 1504 会議室
出席者	委員	多賀直恒 (会長)、千綿俊一郎、井原隆博、柴田節子、萩島理	
	福岡市	矢野部長、梅崎課長、岡田係長、渡邊係長、松尾卓哉、牛尾博和、目野勝美	

凡例：以下において、○は委員、△は福岡市職員の発言を示す。

第 1 号議案

〈社会福祉施設〉

- 現在の敷地は道路面より下がっているのか。
- △ 下がっている。図 5 参照、盛土 (緑色)。
- 施設の用途は何か。施設はどこからかまとまって通うことになるのか。
- △ 障害者の訓練の場であり、実際に商品を作る作業も行う施設である。個別で通所することになる。
- ひかり作業所の位置関係はどうか。ひかり作業所との連携はどのようなものか。
- △ (位置関係は地図にて説明) 早良 5 丁目のひかり作業所に現在勤務しているヘルパーに、こちらにも勤務していただくことになる。
- 新しい作業所に全員移動し、新しい人も増えるのか。旧施設はどうするのか。
- △ 旧施設は老朽化のため、解体する。このため、新しい作業所に全員移動する。
- 本施設については問題ないと思うが、このような施設における連携については、ヘルパー等がどの程度の頻度でケアするのかなど、距離ではなく、どのような連携を図るかといった視点で確認してほしい。
- 承認する。

第 2 号議案

〈その他のもの (私立幼稚園) 〉

- 周辺の住居について。
- △ (周辺の集落及び区画整理地域等を地図により説明)
- 居住者以外の利用については認められないのか。
- △ 地域の周辺の居住者が通うものは、法 34 条 1 号で附議をしなくても認められることがあるが、周辺の居住者以外も通うものとなるため附議している。
- 議案内容をそのように記載すべき。
- 幼稚園はバス等で通園か。
- △ 基本的にバス。
- 周辺に幼稚園がないのか。

- △ 1 k m圏内にはない。
- 福岡市としては幼稚園の数が多いことが問題とされないか。
- △ この地域としては、近くで区画整理を行っている地域であり、子どもの増加が見込まれており、必要と考える。
- この地域は高齢者にも農業体験をやっているのを承知しており、交流が盛んな地域である。
- 保育園が足りないのではないか。
- △ 区画整理や九大の関係で若い人が増えているため、市の施策としてはある。
- 老人施設を併設するなど考えてはどうか。
- △ 地域として幼稚園と交流ができる。
- 車の進入路が水路をまたぐが、蓋を掛けるなど際にもめることはないか。
- △ 水利員及び地元の説明し、法 32 条の同意の中で審議される。
- 区域に市道を含めた理由は何か。
- △ 市道の一部に幅員 4 m が取れていない部分があるため、その部分を区域に含めている。
- 承認する。

第 3 号議案

〈相当期間適正に利用された建築物の用途変更〉

- 誰かに貸すのか。
- △ 売買を考えている。属人性解除をすることにより売買ができる。
- なぜ申請者が二人なのか。
- △ 土地は前田が所有し、建物は山川が所有しているため。
- 前田は能古の人か。
- △ 能古に住んでいた。
- 承認する。